
2023年3月期第2四半期 決算説明会資料

～計数の概要について～

2022年12月5日

稲畑産業株式会社

代表取締役専務執行役員

横田 健一

売上高： 3,734億円 対前年同期比 +13.6%

原材料の販売価格の上昇や円安が寄与し、増収

営業利益： 105億円 対前年同期比 △4.8%

主に情報電子事業の落ち込みにより、減益

経常利益： 103億円 対前年同期比 △14.4%

営業利益の減少や営業外費用の増加により、減益

親会社株主に帰属する
四半期純利益： 96億円 対前年同期比 △28.9%

経常利益や投資有価証券売却益の減少等により、減益

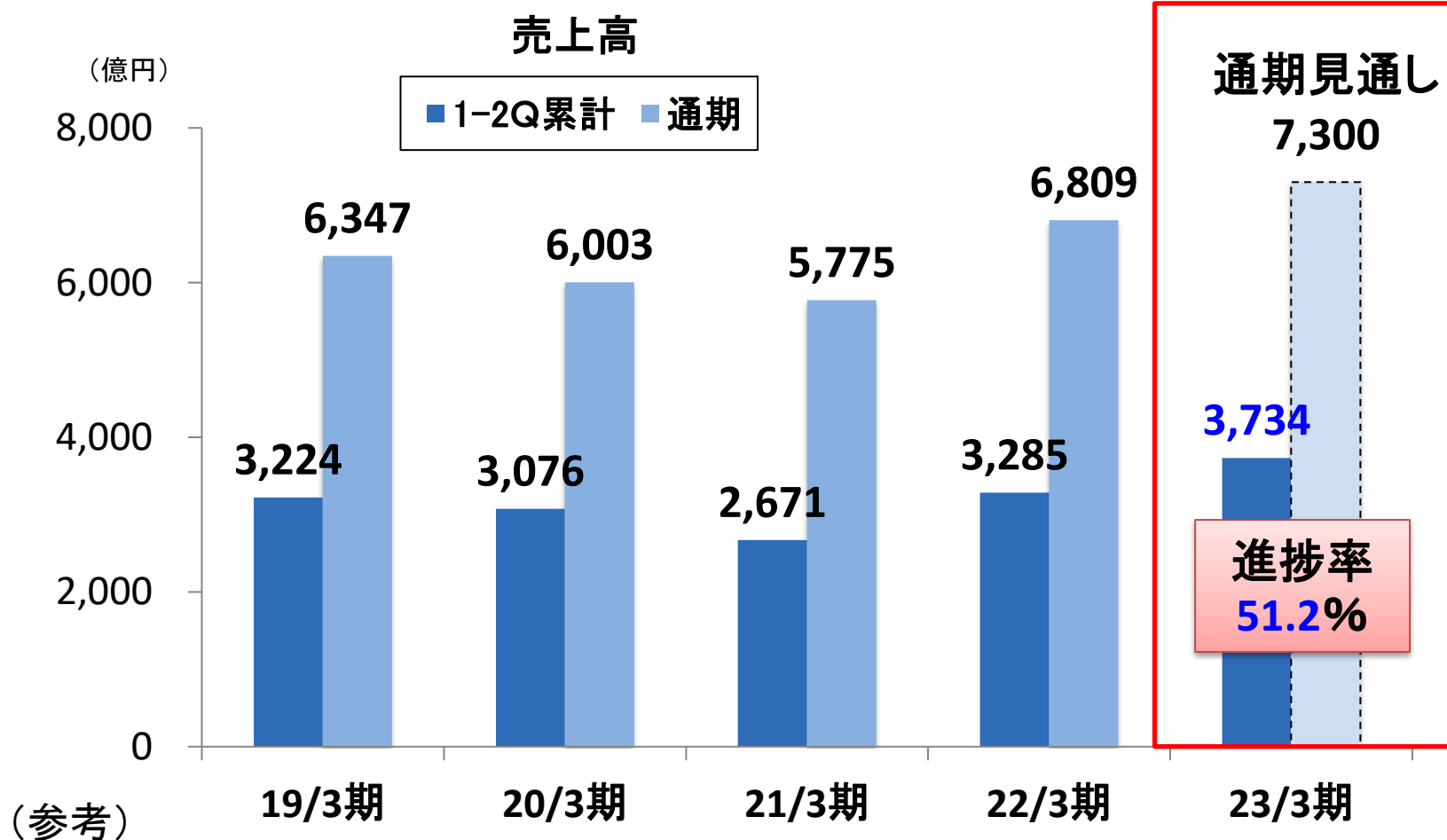
2022年3月期第2四半期 連結決算総括



(億円)

	22/3期 第2四半期	23/3期 第2四半期 (A)	対前年同期比増減		23/3期 通期見通し (B)	達成率 (A)/(B)
			金額	%		
売上高	3,285	3,734	+448	+13.6%	7,300	51.2%
営業利益	110	105	△5	△4.8%	195	54.1%
経常利益	120	103	△17	△14.4%	205	50.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	135	96	△39	△28.9%	205	46.9%
為替レート USD/円	109.81	134.03	+24.22		140.00	

売上高の推移

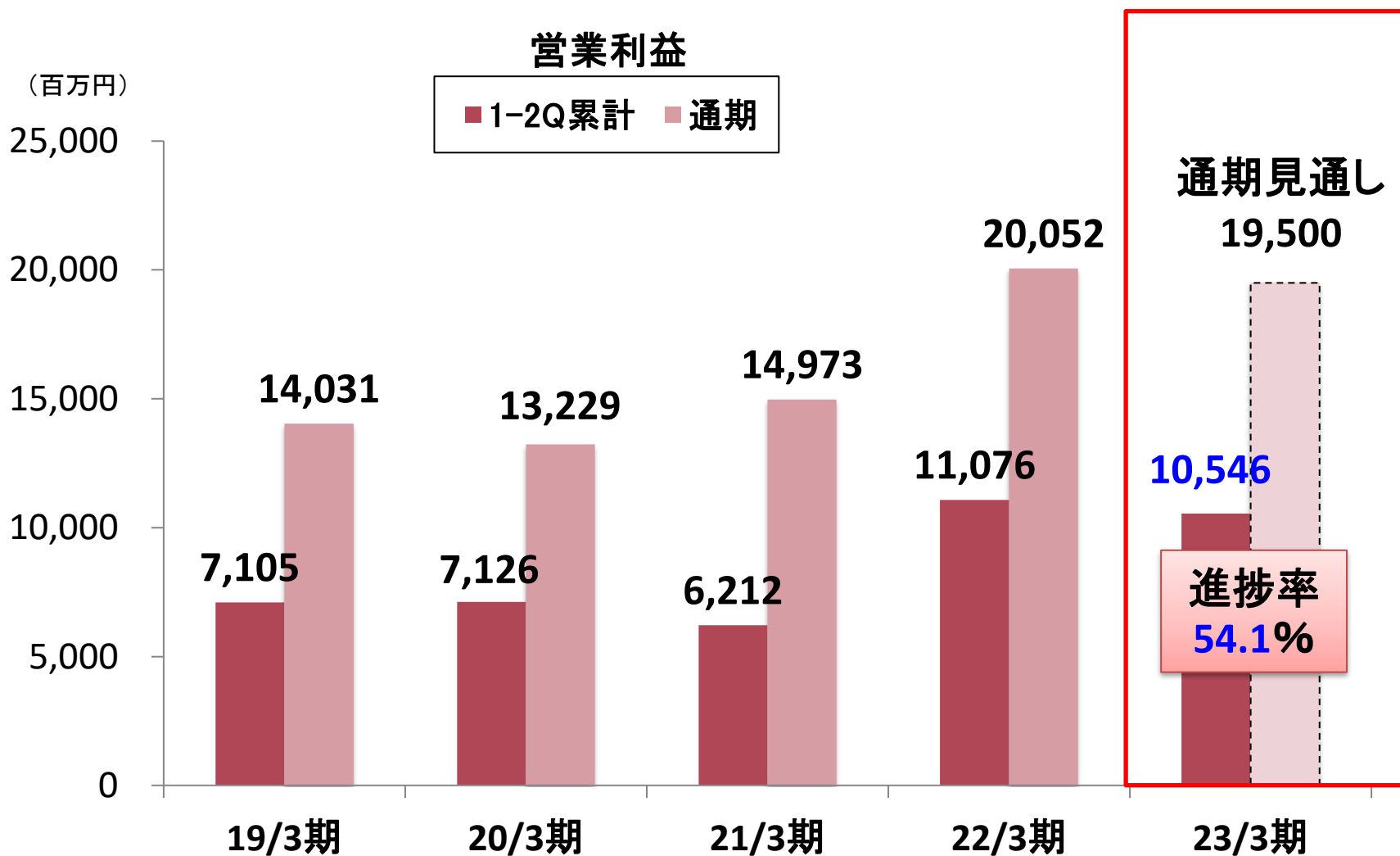


	19/3月期	20/3月期	21/3月期	22/3月期	23/3月期
1-2Q累計	110.26	108.60	106.93	109.81	134.03
通期	110.92	108.70	106.10	112.39	注) 140.00

※22/3期1Qから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。

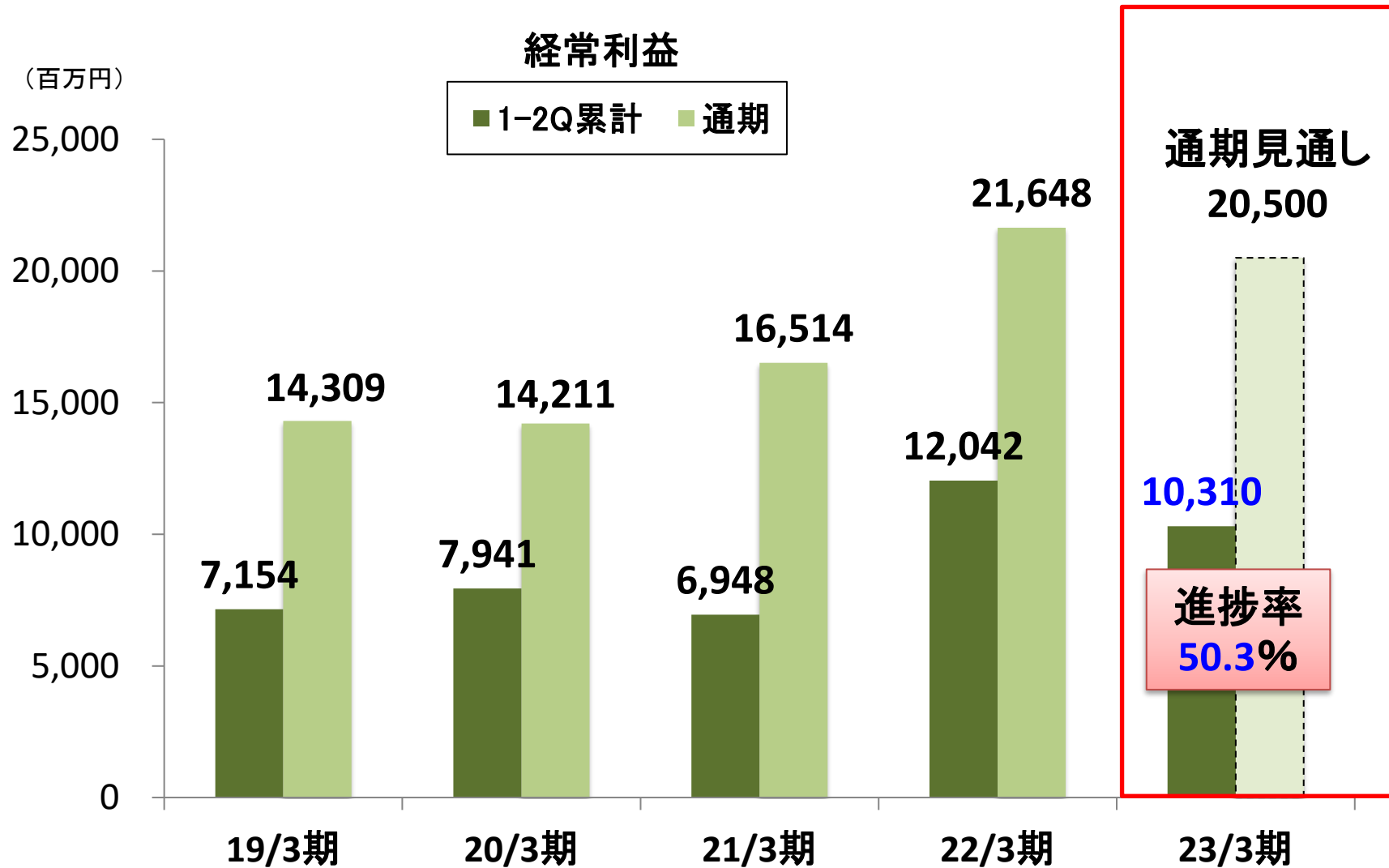
注) 公表時での想定 **4**

営業利益の推移

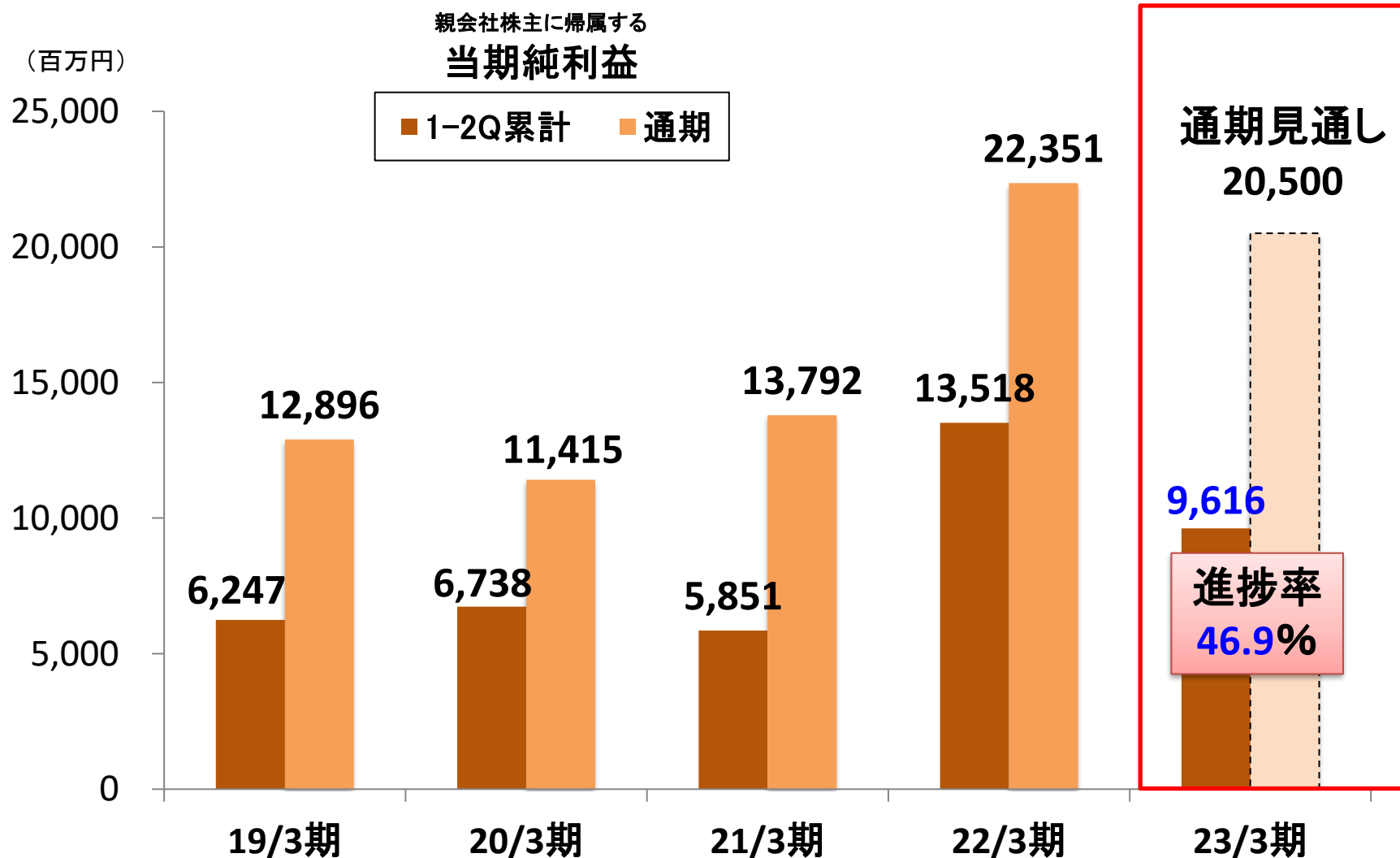


※21/3期 欧州子会社において貸倒引当金の戻入を計上 通期 7.5億円

経常利益の推移



親会社株主に帰属する当期純利益の推移



※投資有価証券売却益を計上: 19/3期 51.1億円、20/3期 30.3億円、21/3期 29.8億円、22/3期 89.7億円
19/3期2Q 17.4億円、20/3期2Q 17.2億円、21/3期2Q 14.1億円、22/3期2Q 65.4億円、23/3期2Q 34.5億円

- ・主に円安により在外子会社等の売上債権、棚卸資産、借入金等が増加
- ・保有株式の売却や時価の下落により投資有価証券が減少

(億円)

(資産)	22/3末	22/9末	増減
現金及び預金	354	307	△46
受取手形及び売掛金	1,846	1,873	+26
棚卸資産	790	937	+146
その他流動資産	123	132	+9
有形固定資産	153	167	+14
無形固定資産	26	24	△1
投資有価証券	483	385	△97
その他固定資産	112	118	+5
資産合計	3,890	3,947	+56

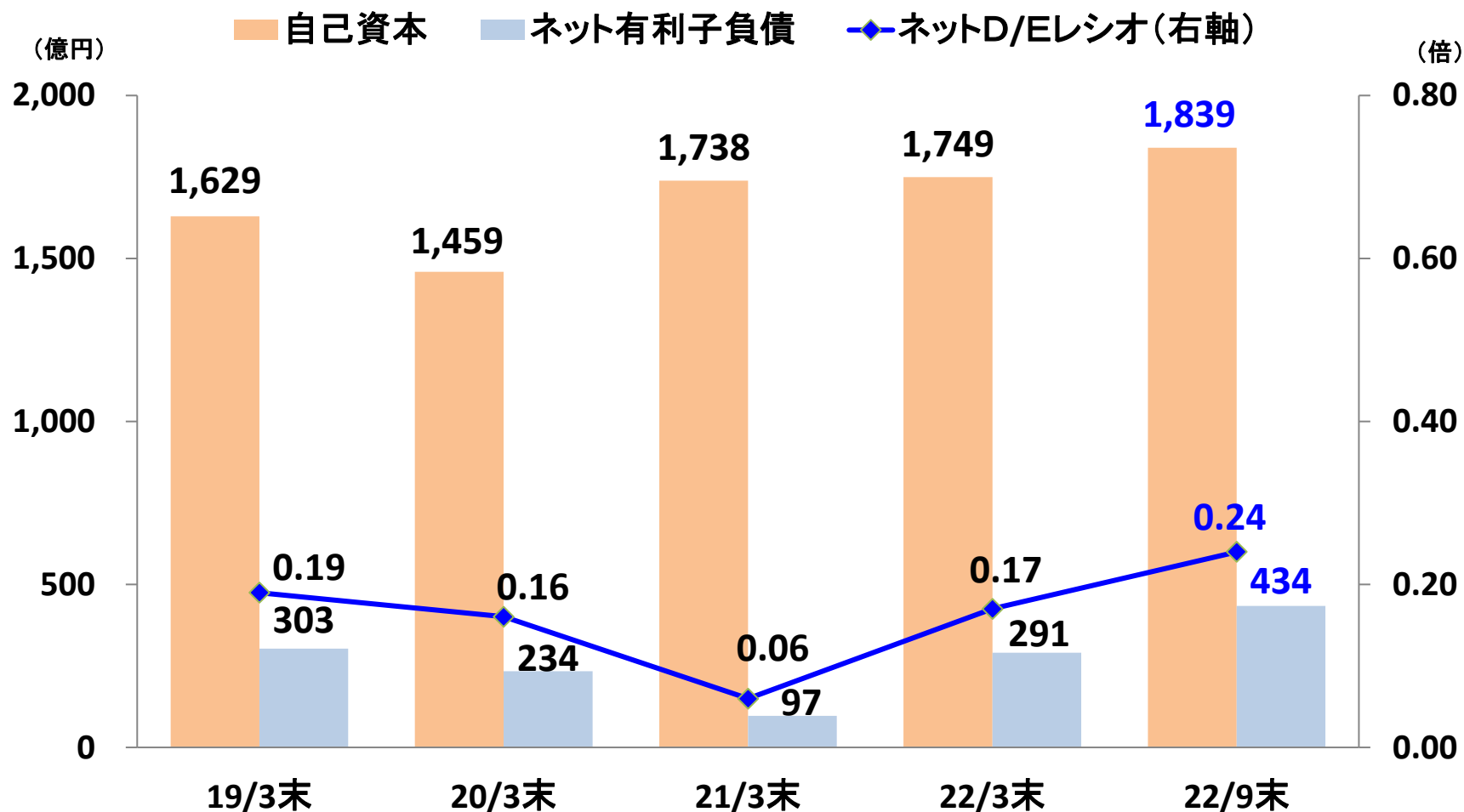
流動比率	161.2%	169.2%
------	--------	--------

(負債/純資産)	22/3末	22/9末	増減
支払手形及び買掛金	1,159	1,046	△113
短期借入金	586	689	+103
その他流動負債	185	185	△0
長期借入金	58	51	△7
その他固定負債	130	115	△15
株主資本	1,395	1,432	+36
その他の包括利益累計額	353	406	+53
非支配株主持分	19	19	△0
負債純資産合計	3,890	3,947	+56

自己資本比率	45.0%	46.6%
--------	-------	-------

※受取手形及び売掛金: 22/3末 受取手形 225億円、売掛金 1,621億円
22/9末 受取手形 231億円、売掛金 1,642億円

自己資本・ネット有利子負債・ネットDER推移



※ 自己資本＝純資産－新株予約権－非支配株主持分

ネットD/Eレシオ＝(有利子負債－現預金)/自己資本

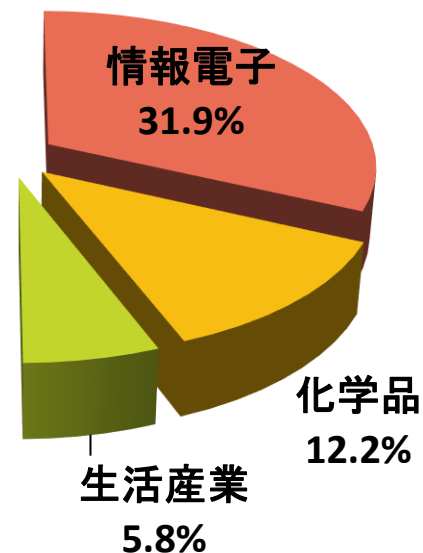
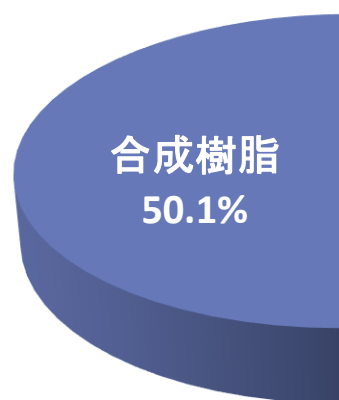
事業セグメント別 売上高

✓ 合成樹脂事業や化学品事業は、円安の効果や原材料価格の上昇により増収

売上高

(億円)

	22/3期 1-2Q累計	23/3期 1-2Q累計	前年同期比 増減率
情報電子	1,238	1,189	△4.0%
化学品	360	456	+26.7%
生活産業	183	215	+17.8%
合成樹脂	1,502	1,871	+24.5%
その他	0	0	+1.6%
合計	3,285	3,734	+13.6%



(億円)

	情報電子	化学品	生活産業	合成樹脂	その他	合計
日本	434	308	148	589	-	1,481
東南アジア	92	57	1	844	-	996
北東アジア	556	37	4	347	-	945
米州	62	31	51	72	-	217
欧州	42	21	10	17	-	92
顧客との契約から 生じる収益	1,189	456	215	1,871	-	3,733
その他の収益	-	-	-	-	0	0
外部顧客への 売上高	1,189	456	215	1,871	0	3,734

※顧客との契約から生じる収益は、販売元の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

事業セグメント別 営業利益

- ✓情報電子事業は、販管費増に加え、フラットパネルディスプレイ(FPD)関連商材の販売減少により減益
- ✓化学品事業は、円安や販売価格上昇に加え、ビジネスの堅調により増益
- ✓生活産業事業は、販管費増に加え、米国でのシーフード商品の利益率低下により減益

営業利益

(百万円)

	22/3期 1-2Q累計	23/3期 1-2Q累計	前年同期比 増減率
情報電子	3,738	2,643	△29.3%
化学品	1,042	1,406	+34.8%
生活産業	1,367	1,171	△14.3%
合成樹脂	4,860	5,261	+8.2%
その他	66	63	△4.4%
合計	11,076	10,546	△4.8%

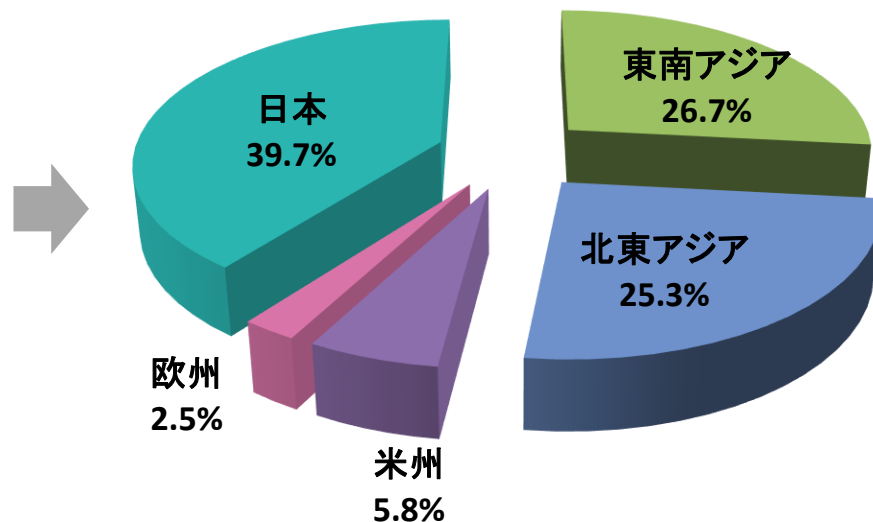
地域別 売上高

✓東南アジア・米州・欧州 主に円安が寄与し、増収

売上高

(億円)

	22/3期 1-2Q累計	23/3期 1-2Q累計	前年同期比 増減率
東南アジア	766	996	+29.9%
北東アジア	946	945	△0.1%
米州	155	217	+39.7%
欧州	58	92	+59.5%
日本	1,358	1,481	+9.1%
合計	3,285	3,734	+13.6%
海外比率	58.6%	60.3%	(+1.7%)



※「日本」区分には日本から海外への輸出を含む(23/3期1-2Qは242億円)
これらを含む海外向け売上比率は (22/3期 1-2Q) 64.2% → (23/3期 1-2Q) 65.1%

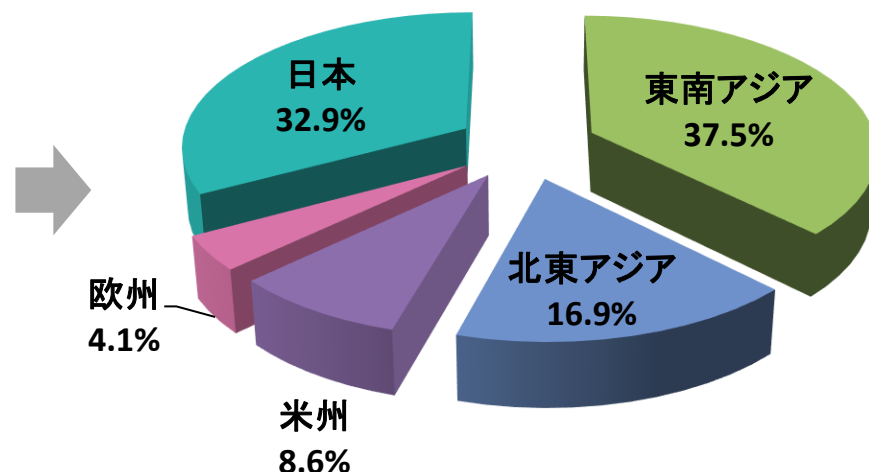
地域別 営業利益

- ✓北東アジア 販管費増に加え、FPD関連商材の販売減少により減益
- ✓日本 FPD関連商材の販売減少やグループ会社における製袋品の価格転嫁の遅れにより減益

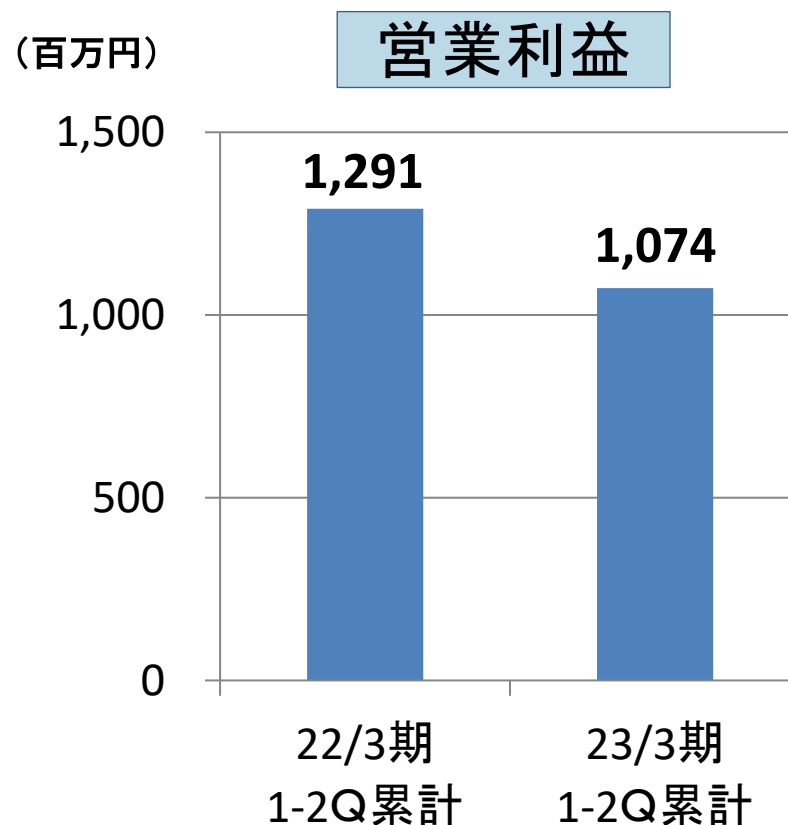
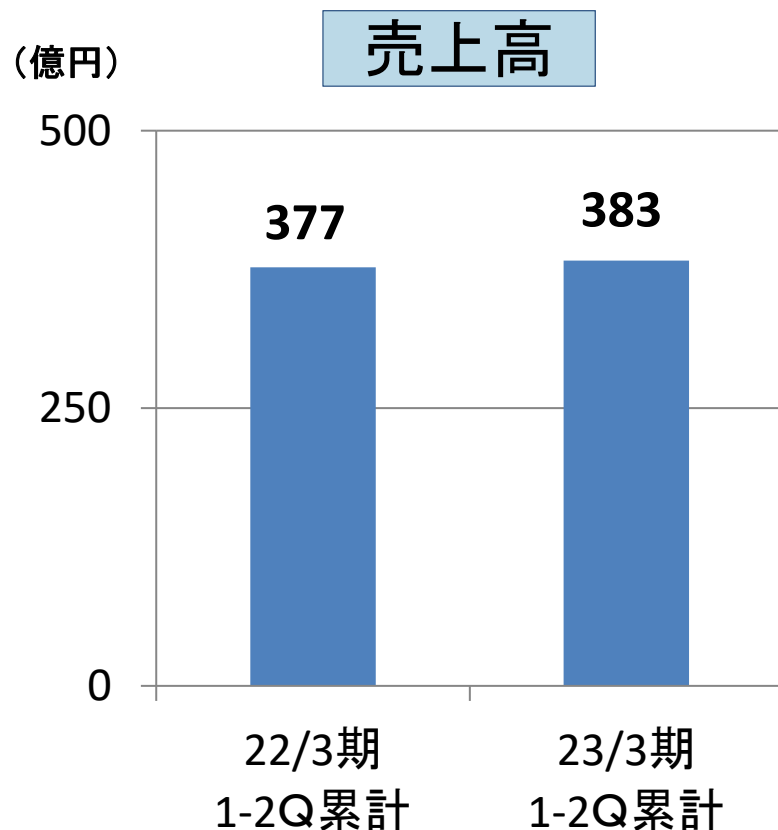
営業利益

(百万円)

	22/3期 1-2Q累計	23/3期 1-2Q累計	前年同期比 増減率
東南アジア	3,288	3,941	+19.8%
北東アジア	2,229	1,777	△20.2%
米州	802	904	+12.7%
欧州	334	425	+27.4%
日本	4,445	3,462	△22.1%
小計	11,100	10,512	△5.3%
消去又は全社	△23	34	
合計	11,076	10,546	△4.8%
(海外比率)	(60.0%)	(67.1%)	(+7.1%)



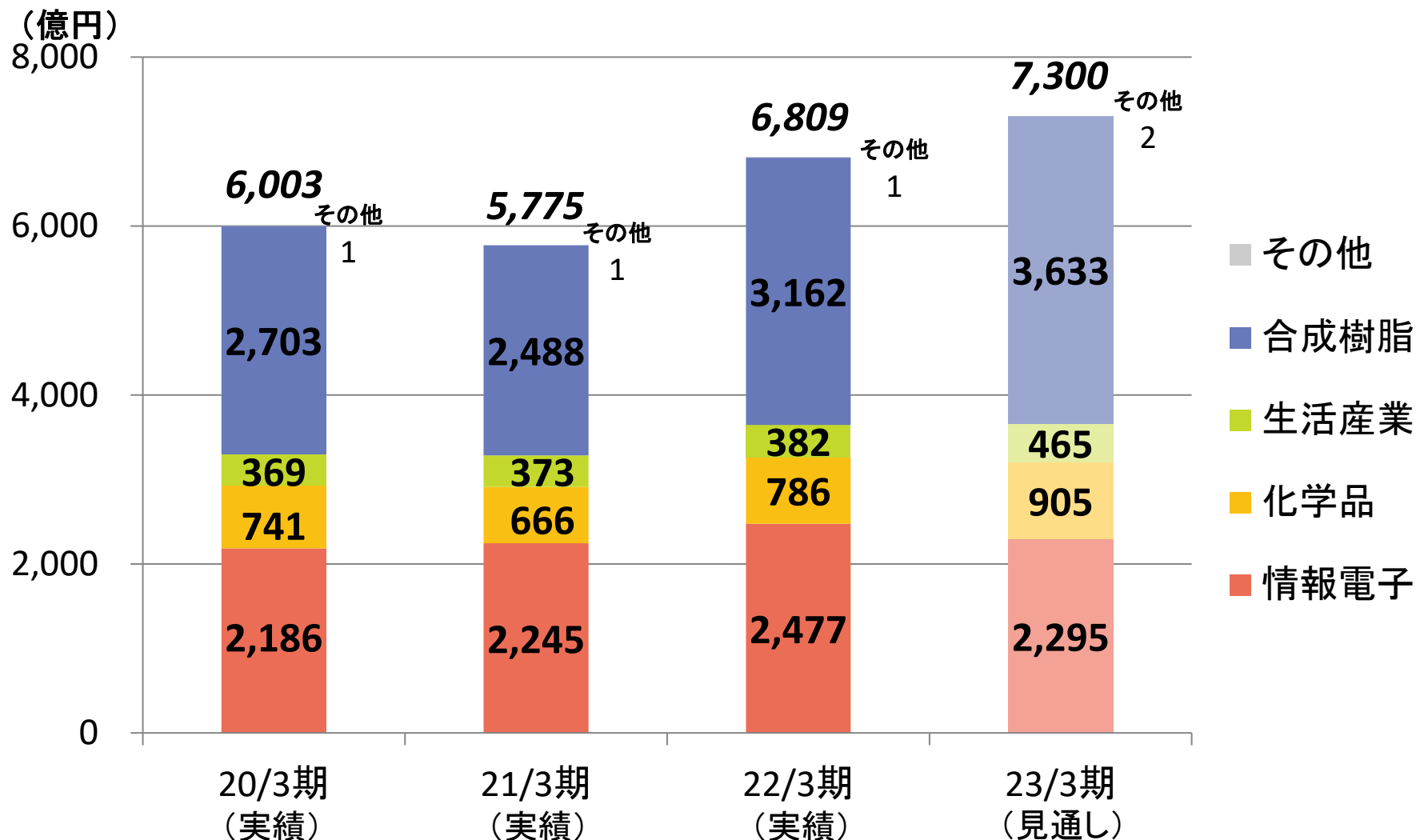
売上高が増加するも、電子部品不足などにより、
東南アジアのコンパウンド製造工場の加工ビジネスが低調



(注) 22/3期1-2Q累計の実績値は、23/3期1-2Q累計決算レート(1USD=134.03円)に置換えしております。

事業セグメント別 売上高(通期)

✓23/3期事業セグメント別見通しは、期初見通しから変更

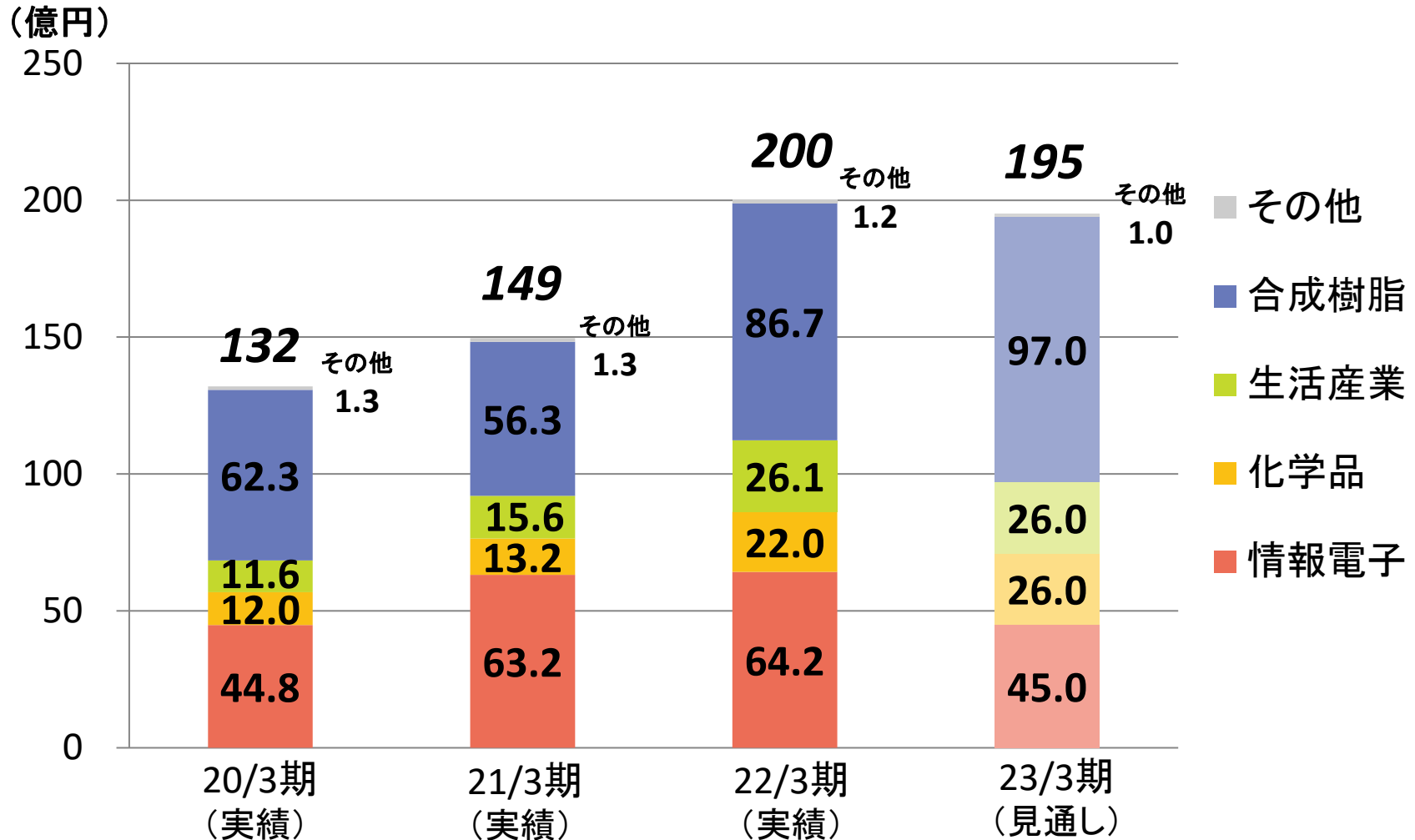


※23/3期 期初見通し 情報電子2,730億円、化学品830億円、生活産業470億円、合成樹脂3,268億円、その他2億円

※22/3期(実績)以降は、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等適用後の売上高を表示しています。Copyright © INABATA & CO., LTD. 2022

事業セグメント別 営業利益(通期)

✓23/3期事業セグメント別見通しは、期初見通しから変更



※23/3期 期初見通し 情報電子62億円、化学品20億円、生活産業23億円、合成樹脂89億円、その他1億円

※21/3期 貸倒引当金の戻入を計上 情報電子 7.5億円

連結子会社等の状況

	社数		
	国内	海外	合計
連結子会社	7	36	43
(内 製造・加工業)	(5)	(16)	(21)
持分法適用関連会社	4	1	5
(内 製造・加工業)	(2)	(1)	(3)
合計	11	37	48
(内 製造・加工業)	(7)	(17)	(24)

主な連結子会社の状況



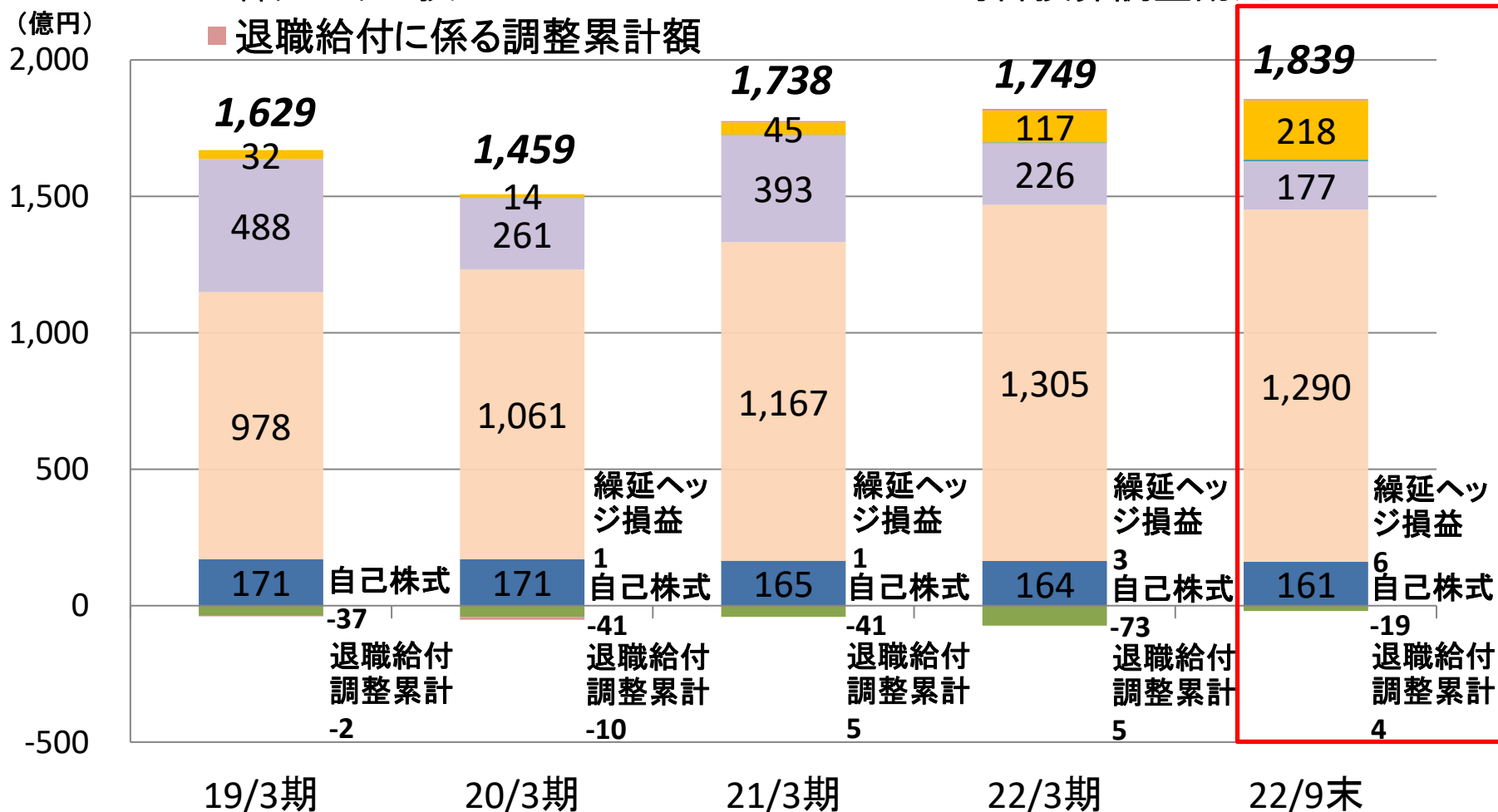
(百万円)

会社名	所在地	22/3期 1-2Q累計			23/3期 1-2Q累計			前年同期比増減率		
		売上	営業利益	当期利益	売上	営業利益	当期利益	売上	営業利益	当期利益
Taiwan Inabata Sangyo Co.,Ltd.	台 湾	20,680	515	392	15,486	229	137	△25.1%	△55.6%	△65.0%
Inabata Sangyo (H.K.) Ltd.	香 港	47,538	857	1,092	38,359	443	850	△19.3%	△48.3%	△22.1%
Inabata Singapore (Pte.) Ltd.	シンガポール	39,945	767	963	38,031	682	1,057	△4.8%	△11.0%	+9.7%
Inabata Thai Co.,Ltd.	タイ	25,560	596	522	23,987	412	366	△6.2%	△30.8%	△29.9%
Shanghai Inabata Trading Co.,Ltd.	上 海	44,135	894	703	38,240	829	520	△13.4%	△7.2%	△26.1%
PT.Inabata Indonesia	インドネシア	16,468	683	540	18,750	807	607	+13.9%	+18.1%	+12.3%
稲畑ファインテック	日 本	9,790	328	221	10,652	322	212	+8.8%	△1.8%	△4.0%

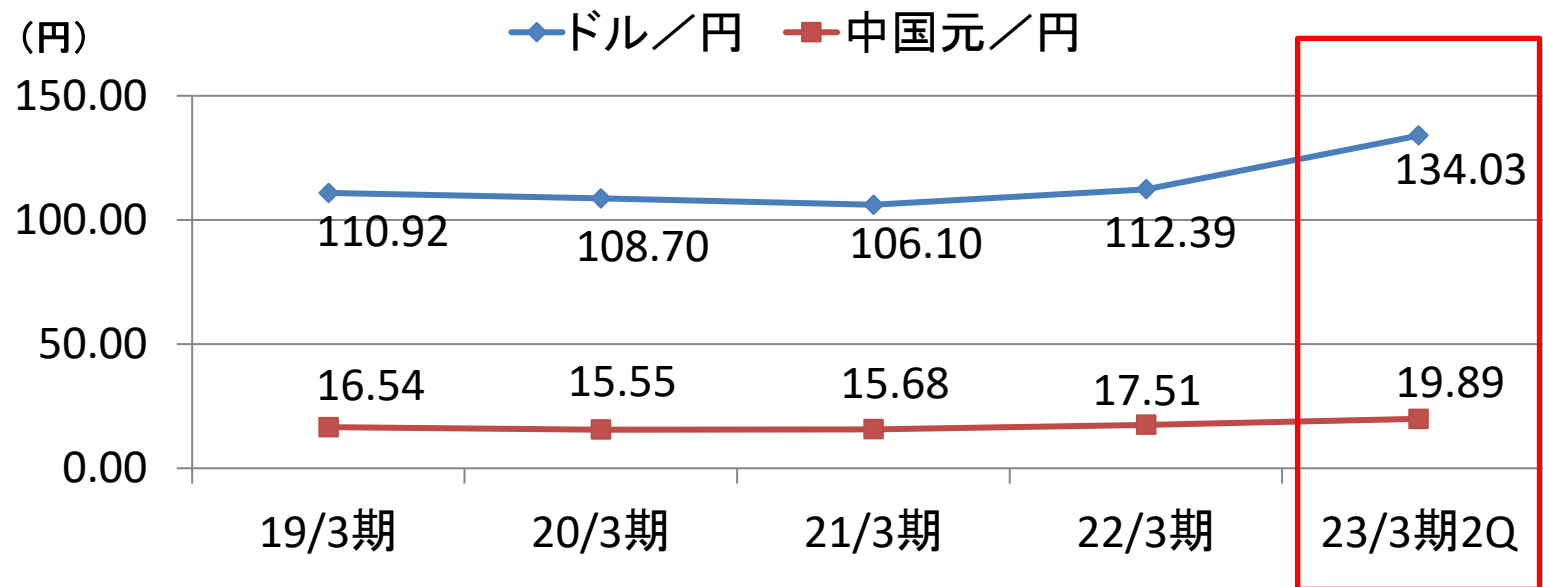
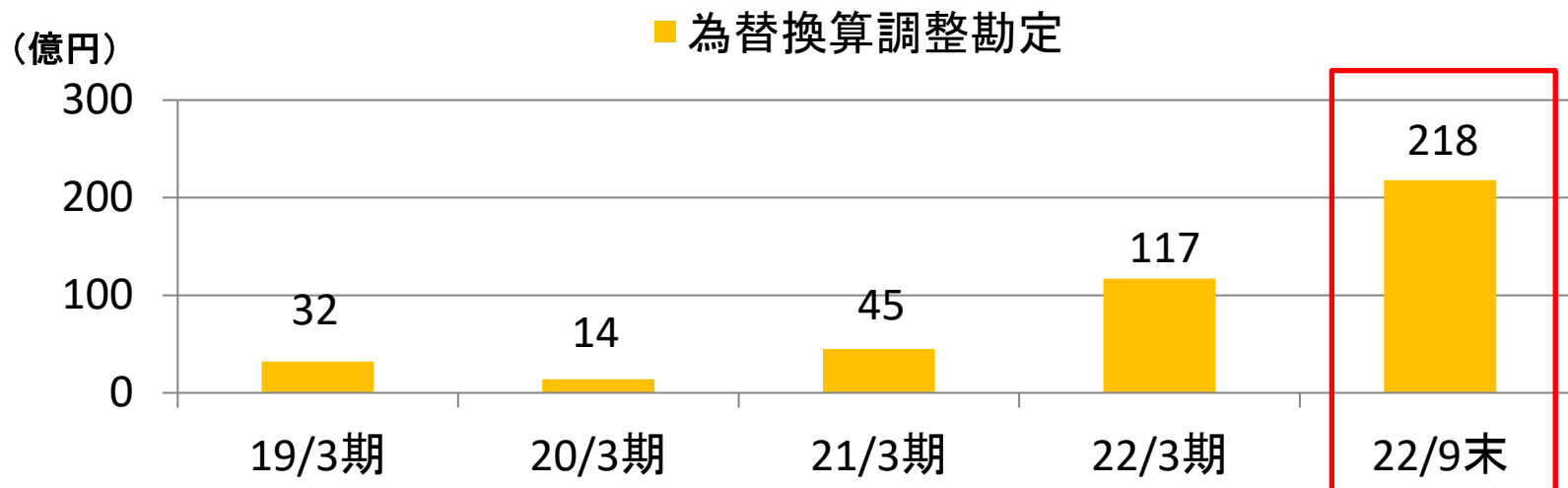
(注) 22/3期1-2Q累計の実績値は、23/3期1-2Q累計決算レート(1USD=134.03円)に置換えしております。

(参考)自己資本の推移

- 資本・資本剰余金
- 自己株式
- 繰延ヘッジ損益
- 退職給付に係る調整累計額
- 利益剰余金
- その他評価差額金
- 為替換算調整勘定



(参考) 為替変動による為替換算調整勘定への影響 IK



□ IRに関するお問い合わせ先

稲畑産業株式会社 財務経営管理室 IR企画部

E-mail inabata-ir@inabata.com

◆将来の見通しに関する注意事項

本資料にて開示されているデータおよび将来に関する予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。これらのデータや将来の予測は、不確定な要素を含んだものであり、将来の業績等を保証するものではありません。

◆数値の表示に関して

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。